



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年7月30日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4551 URL <https://www.torii.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 剛一
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 高島 幸宏 (TEL) 03(3231)6811
 四半期報告書提出予定日 2021年8月2日 配当支払開始予定日 2021年9月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の業績 (2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	21,555	8.5	1,788	△34.7	1,851	△36.2	1,244	△30.9
2020年12月期第2四半期	19,857	△4.0	2,738	841.3	2,903	620.9	1,800	△93.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	44 30	—
2020年12月期第2四半期	64 14	64 13

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	126,523	115,570	91.3
2020年12月期	126,026	115,091	91.3

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 115,570百万円 2020年12月期 115,081百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	24 00	—	24 00	48 00
2021年12月期	—	24 00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	24 00	48 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,400	11.3	4,000	△15.6	4,200	△15.5	2,800	△19.9	99 69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

*上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2021年12月期第2四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 2 Q	28,800,000株	2020年12月期	28,800,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期 2 Q	707,557株	2020年12月期	714,558株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 2 Q	28,088,111株	2020年12月期 2 Q	28,076,555株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	3
(3) 研究開発・導入活動	3
(4) 業績予想などの将来予測情報	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績

当第2四半期累計期間の経営成績につきましては、以下のとおりです。

	2020年12月期 第2四半期累計期間	2021年12月期 第2四半期累計期間	増減額	増減率
売上高 (百万円)	19,857	21,555	1,697	8.5%
営業利益 (百万円)	2,738	1,788	△950	△34.7%
経常利益 (百万円)	2,903	1,851	△1,052	△36.2%
四半期純利益 (百万円)	1,800	1,244	△556	△30.9%

売上高は、薬価改定のほか、2020年7月に実施した佐倉工場譲渡に伴う受託製造の終了による減少があったものの、アレルギー領域における販売数量の伸長に加え、「コレクチム軟膏(外用JAK阻害剤)」の販売を2020年6月に開始したこと等により、21,555百万円と前年同期に比べ1,697百万円(8.5%)増加しました。

なお、遺伝性血管性浮腫(HAE)の急性発作の発症抑制を適応症とした「オラデオカプセル(血漿カリクレイン阻害剤)」につきまして、2021年4月に販売を開始しました。

各フランチャイズ領域における主要な製品・商品の販売状況につきましては、以下のとおりです。

- ・腎・透析領域におきましては、「リオナ錠(高リン血症治療剤、鉄欠乏性貧血治療剤)」が3,166百万円と前年同期に比べ30百万円(1.0%)増加し、「レミッチ(透析患者における経口そう痒症改善剤)」は薬価改定に加えて後発品の影響もあり2,556百万円と前年同期に比べ566百万円(18.1%)減少しました。
- ・皮膚疾患領域におきましては、「アンテベート(外用副腎皮質ホルモン剤)」が薬価改定の影響により2,417百万円と前年同期に比べ170百万円(6.6%)減少し、「コレクチム軟膏」は1,664百万円と前年同期に比べ1,487百万円(843.7%)増加しました。
- ・アレルギー領域におきましては、アレルギー免疫療法のさらなる普及により「シダキュア スギ花粉舌下錠(アレルギー免疫療法薬)」は3,436百万円と前年同期に比べ757百万円(28.3%)増加し、「ミティキュア ダニ舌下錠(アレルギー免疫療法薬)」は3,143百万円と前年同期に比べ1,063百万円(51.1%)増加しました。

費用面におきましては、売上原価は10,492百万円と前年同期に比べ1,015百万円(10.7%)増加し、販売費及び一般管理費は売上連動経費、新製品の発売等に伴う販売費用等の増加により9,274百万円と前年同期に比べ1,632百万円(21.4%)増加しました。

以上の結果、営業利益は1,788百万円と前年同期に比べ950百万円(34.7%)、経常利益は1,851百万円と前年同期に比べ1,052百万円(36.2%)、四半期純利益は1,244百万円と前年同期に比べ556百万円(30.9%)それぞれ減少しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、患者様の医療機関への受診抑制傾向が見られることや、医薬情報担当者(MR)の医療機関への訪問自粛等の結果、「コレクチム軟膏」及び「エナロイ錠(腎性貧血治療薬)」の立ち上がりに遅れが生じておりますが、ITを活用した適正使用情報提供活動の拡充等により対応しております。なお、当第2四半期累計期間の業績への影響は軽微です。

(2) 財政状態

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、126,523百万円と前事業年度末に比べ497百万円(0.4%)増加しました。これは、キャッシュ・マネージメント・システム預託金が5,552百万円減少しましたが、投資その他の資産のその他に含まれる長期前払費用が2,535百万円、現金及び預金が2,103百万円、商品及び製品が1,078百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、10,953百万円と前事業年度末に比べ18百万円(0.2%)増加しました。これは、流動負債のその他に含まれる未払金が449百万円、買掛金が97百万円減少しましたが、未払法人税等が621百万円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、115,570百万円と前事業年度末に比べ478百万円(0.4%)増加しました。これは、主に利益剰余金が570百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、56,127百万円と前事業年度末に比べ5,448百万円(8.8%)減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が1,786百万円、減価償却費が206百万円となりましたが、長期前払費用の増加額が2,535百万円、たな卸資産の増加額が982百万円となったこと等により1,886百万円の支出となりました。(前第2四半期累計期間は5,595百万円の支出)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却及び償還による収入が6,620百万円、投資有価証券の売却及び償還による収入が2,961百万円となりましたが、有価証券の取得による支出が7,900百万円、投資有価証券の取得による支出が4,029百万円となったこと等により2,799百万円の支出となりました。(前第2四半期累計期間は649百万円の支出)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額が674百万円となったことにより762百万円の支出となりました。(前第2四半期累計期間は716百万円の支出)

(3) 研究開発・導入活動

当第2四半期累計期間の研究開発費の総額は331百万円となりました。

現時点における主な研究開発の状況につきましては、「2021年12月期第2四半期決算 参考資料」に記載しております。

(4) 業績予想などの将来予測情報

通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間までの進捗状況等を勘案し、前回発表(2021年2月6日「2020年12月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の予想数値を以下のとおり修正しております。

	2021年12月期 前回予想	2021年12月期 修正予想	対前回予想 増減額	対前回予想 増減率	(参考) 2020年12月期 実績
売上高(百万円)	45,700	46,400	700	1.5%	41,700
営業利益(百万円)	3,800	4,000	200	5.3%	4,738
経常利益(百万円)	4,100	4,200	100	2.4%	4,971
当期純利益(百万円)	2,700	2,800	100	3.7%	3,495

売上高は、「リオナ錠」の薬価改定の影響等による減少や、新型コロナウイルス感染症の影響による医薬情報担当者(MR)の医療機関への訪問自粛等の結果、「コレクチム軟膏」及び「エナロイ錠」の立ち上がりの遅れがあるものの、アレルギー領域において「シダキュア スギ花粉舌下錠」及び「ミティキュア ダニ舌下錠」の販売状況が好調に推移していることにより、前回予想を上回る見通しとなりました。利益面につきましては、売上連動経費及び新製品の発売等に伴う販売費用等の増加を見込みますが、売上高の増加により、営業利益、経常利益及び当期純利益ともに前回予想を上回る見通しとなりました。

なお、当期の配当金につきましては、1株当たり年間48円(中間配当金24円、期末配当金24円)を予定しており、前回予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,717	5,820
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	27,859	22,306
受取手形及び売掛金	18,957	18,964
有価証券	38,528	39,507
商品及び製品	4,285	5,364
原材料及び貯蔵品	2,866	2,771
その他	527	485
流動資産合計	96,742	95,220
固定資産		
有形固定資産	1,777	1,856
無形固定資産	442	513
投資その他の資産		
投資有価証券	20,810	19,935
その他	6,254	8,997
投資その他の資産合計	27,064	28,933
固定資産合計	29,284	31,303
資産合計	126,026	126,523
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,143	5,045
未払法人税等	41	663
賞与引当金	391	391
役員賞与引当金	13	6
返品調整引当金	3	1
その他	3,868	3,474
流動負債合計	9,461	9,583
固定負債		
退職給付引当金	948	886
その他	525	484
固定負債合計	1,473	1,370
負債合計	10,935	10,953
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,437	6,445
利益剰余金	104,224	104,794
自己株式	△1,407	△1,393
株主資本合計	114,444	115,035
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	636	534
評価・換算差額等合計	636	534
新株予約権	10	—
純資産合計	115,091	115,570
負債純資産合計	126,026	126,523

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	19,857	21,555
売上原価	9,477	10,492
売上総利益	10,380	11,062
販売費及び一般管理費		
販売促進費	1,337	1,801
給料及び手当	1,918	2,129
賞与引当金繰入額	396	380
研究開発費	281	331
その他	3,708	4,630
販売費及び一般管理費合計	7,642	9,274
営業利益	2,738	1,788
営業外収益		
受取利息	62	77
受取配当金	72	68
為替差益	6	—
その他	23	17
営業外収益合計	165	163
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	70
投資事業組合運用損	—	29
その他	0	0
営業外費用合計	0	100
経常利益	2,903	1,851
特別利益		
新株予約権戻入益	—	10
特別利益合計	—	10
特別損失		
固定資産除却損	9	34
投資有価証券売却損	—	40
事業構造改革費用	765	—
特別損失合計	774	75
税引前四半期純利益	2,128	1,786
法人税等	327	542
四半期純利益	1,800	1,244

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,128	1,786
減価償却費	401	206
受取利息及び受取配当金	△134	△147
支払利息	0	0
固定資産除売却損益(△は益)	9	34
事業構造改革費用	765	—
売上債権の増減額(△は増加)	7,623	△6
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3	△982
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,718	△97
未払金の増減額(△は減少)	△1,010	△494
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,476	120
長期前払費用の増減額(△は増加)	△134	△2,535
その他	△797	27
小計	3,653	△2,088
利息及び配当金の受取額	147	162
利息の支払額	△0	△0
事業構造改革費用の支払額	△74	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△9,321	39
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,595	△1,886
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△22,006	△7,900
有価証券の売却及び償還による収入	26,500	6,620
有形固定資産の取得による支出	△86	△99
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△54	△122
投資有価証券の取得による支出	△5,005	△4,029
投資有価証券の売却及び償還による収入	2	2,961
出資金の払込による支出	—	△200
その他	—	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△649	△2,799
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△673	△674
リース債務の返済による支出	△42	△88
財務活動によるキャッシュ・フロー	△716	△762
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,962	△5,448
現金及び現金同等物の期首残高	58,819	61,576
現金及び現金同等物の四半期末残高	51,856	56,127

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

2021年12月期 第2四半期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
③ キャッシュ・フローの状況	P.1
④ 設備投資の状況	P.1
⑤ 非資金項目	P.1
II 2021年12月期 第2四半期実績	P.2
① 四半期損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 研究開発の状況	P.5
III 2021年12月期 業績予想	P.6
① 損益計算書	P.6
② 製商品別売上高	P.8

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てて表示しております。

※ 本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

2021年7月30日



鳥居薬品株式会社

I サマリー情報

① 経営成績

2021年12月期 業績予想については、前回発表（2021年2月4日「2020年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の予想数値を修正しております。

(単位: 百万円)	2020年12月期 第2四半期 A	2021年12月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2020年12月期 実績	2021年12月期 修正予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	19,857	21,555	1,697	8.5	41,700	46,400	46.5
営業利益	2,738	1,788	△950	△34.7	4,738	4,000	44.7
経常利益	2,903	1,851	△1,052	△36.2	4,971	4,200	44.1
四半期（当期）純利益	1,800	1,244	△556	△30.9	3,495	2,800	44.4
(参考)							
研究開発費	281	331	49	17.6	596	910	36.4
1株当たり四半期(当期) 純利益(EPS)	(円) 64.14	44.30	△19.84		124.47	99.69	
自己資本四半期(当期) 純利益率(ROE)	(%) 1.6	1.1	△0.5		3.1		
総資産経常利益率	(%) 2.2	1.5	△0.7		3.7		
売上高営業利益率	(%) 13.8	8.3	△5.5		11.4		
総資産四半期(当期) 純利益率(ROA)	(%) 1.4	1.0	△0.4		2.6		

② 財政状態

(単位: 百万円)	2020年12月期 第2四半期 A	2021年12月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	126,026	126,523	497	0.4
純資産	115,091	115,570	478	0.4
自己資本比率	(%) 91.3	91.3	0.0	
1株当たり純資産(BPS)	(円) 4,097.55	4,113.92	16.37	

③ キャッシュ・フローの状況

(単位: 百万円)	2020年12月期 第2四半期 A	2021年12月期 第2四半期 B	増減額 B-A
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,595	△1,886	3,709
投資活動によるキャッシュ・フロー	△649	△2,799	△2,149
財務活動によるキャッシュ・フロー	△716	△762	△45
現金及び現金同等物の四半期末残高	51,856	56,127	4,270

④ 設備投資の状況

(単位: 百万円)	2020年12月期 第2四半期 A	2021年12月期 第2四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2020年12月期 実績	2021年12月期 修正予想
設備投資額	211	391	180	85.2	392	1,331
有形固定資産	151	237	86	56.9	277	1,021
無形固定資産	60	154	94	156.5	114	310

⑤ 非資金項目

(単位: 百万円)	2020年12月期 第2四半期 A	2021年12月期 第2四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2020年12月期 実績	2021年12月期 修正予想
減価償却費	401	206	△195	△48.6	582	424
長期前払費用償却費	240	326	85	35.7	496	718

Ⅱ 2021年12月期 第2四半期実績

① 四半期損益計算書

(単位:百万円)	2020年12月期 第2四半期 A	2021年12月期 第2四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2021年12月期 修正予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	19,857	21,555	1,697	8.5	46,400	46.5
製商品売上高	19,453	21,057	1,603	8.2	45,720	46.1
腎・透析領域	7,217	6,493	△724	△10.0	14,130	46.0
皮膚疾患領域	4,483	5,606	1,123	25.1	12,310	45.5
アレルギー領域	5,001	6,716	1,715	34.3	14,880	45.1
その他	2,751	2,241	△509	△18.5	4,400	50.9
その他の売上高	404	497	93	23.1	680	73.1
売上原価	9,477	10,492	1,015	10.7	22,400	46.8
製商品売上原価	9,449	10,464	1,014	10.7		
その他の原価	27	28	0	3.1		
売上総利益	10,380	11,062	681	6.6	24,000	46.1
販売費及び一般管理費	7,642	9,274	1,632	21.4	20,000	46.4
販管費(研究開発費除く)	7,360	8,942	1,582	21.5	19,090	46.8
研究開発費	281	331	49	17.6	910	36.4
営業利益	2,738	1,788	△950	△34.7	4,000	44.7
営業外損益	164	63	△101			
経常利益	2,903	1,851	△1,052	△36.2	4,200	44.1
特別損益	△774	△65	709			
税引前四半期純利益	2,128	1,786	△342	△16.1		
法人税等	327	542	214			
四半期(当期)純利益	1,800	1,244	△556	△30.9	2,800	44.4

(参考) 売上高に対する比率

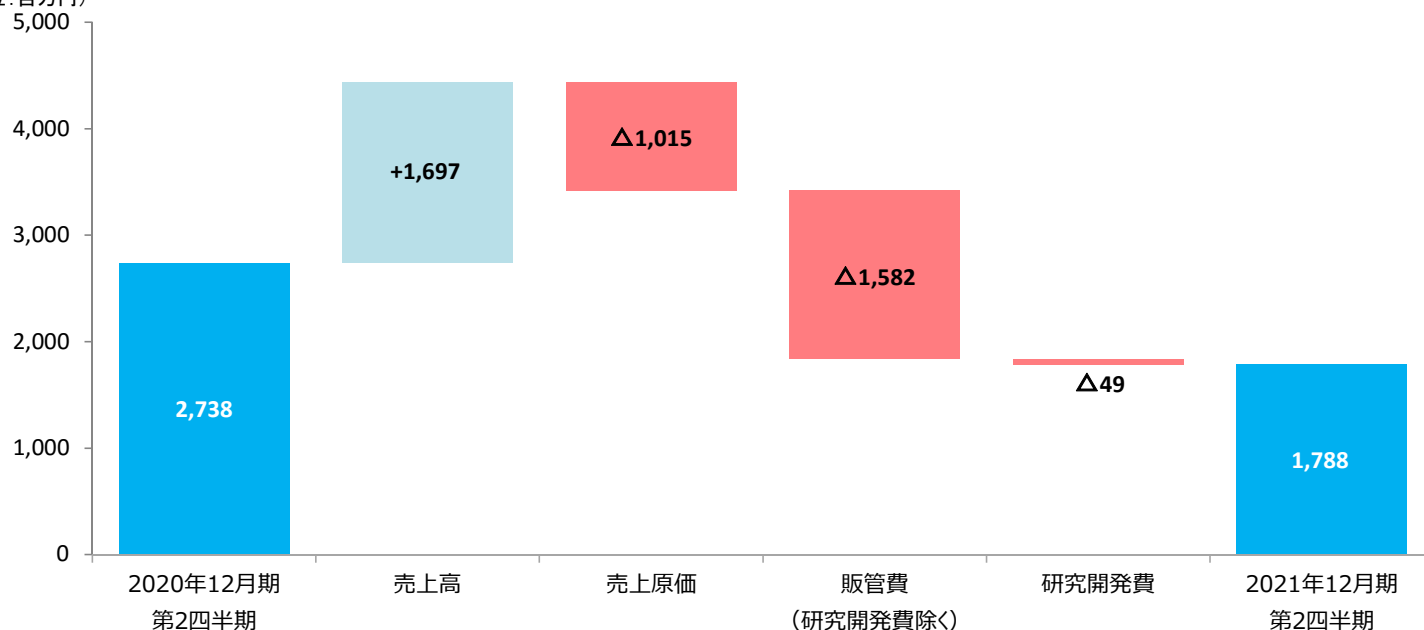
(単位:%)	2020年12月期 第2四半期 A	2021年12月期 第2四半期 B	増減 B-A
売上原価	47.7	48.7	1.0
販売費及び一般管理費	38.5	43.0	4.5
研究開発費	1.4	1.5	0.1
営業利益	13.8	8.3	△5.5
経常利益	14.6	8.6	△6.0
四半期純利益	9.1	5.8	△3.3

【対前年同期増減要因】

営業利益 (1,788百万円 対前年同期△950百万円)

✓ コレクチム及びアレルギー領域の売上増加も、新製品に係る費用投入により増収減益

(単位:百万円)



主な増減要因

売上高	腎・透析領域	: 減収	レミッチ△5億円 (薬価改定及び後発品の影響)
	皮膚疾患領域	: 増収	コレクチム+14億円 (2020年6月販売開始)
	アレルギー領域	: 増収	ミティキュア+10億円、シダキュア+7億円 (販売数量の増)
	その他	: 減収	(前期) 受託製造売上
売上原価		: 売上高の増加	(前期) 原料廃棄損失見込額の戻入益
販管費 (研究開発費除く)		: 売上連動経費の増加	新製品の発売等に伴う販売費用の増加

経常利益 (1,851百万円 対前年同期△1,052百万円)

特記事項: 特になし

四半期純利益 (1,244百万円 対前年同期△556百万円)

前期 事業構造改革費用 (佐倉工場譲渡損失見込等) 765百万円

法人税等 (見積実効税率: 前期15.5% 当期30.4%) +214百万円

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2020年12月期 第2四半期 A	2021年12月期 第2四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	19,453	21,057	1,603	8.2
[腎・透析領域]				
リオナ錠	3,136	3,166	30	1.0
高リン血症治療剤、鉄欠乏性貧血治療剤				
レミッチ	3,123	2,556	△566	△18.1
経口そう痒症改善剤				
ケイキサレート ※1	849	764	△85	△10.1
高カリウム血症改善剤				
その他	108	5	△103	△94.8
計	7,217	6,493	△724	△10.0
[皮膚疾患領域]				
アンテベート ※1	2,588	2,417	△170	△6.6
外用副腎皮質ホルモン剤				
コレクナム軟膏 ※2	176	1,664	1,487	843.7
外用ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤				
ロコイド ※1	842	872	30	3.6
外用副腎皮質ホルモン剤				
ゼフナート	638	446	△192	△30.2
抗真菌薬				
その他	237	205	△32	△13.5
計	4,483	5,606	1,123	25.1
[アレルギー領域]				
シダキュア スギ花粉舌下錠 ※1	2,678	3,436	757	28.3
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬				
ミティキュア ダニ舌下錠 ※1	2,079	3,143	1,063	51.1
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬				
その他	242	137	△105	△43.5
計	5,001	6,716	1,715	34.3
[その他]				
ビオスリー	1,392	1,498	105	7.6
活性生菌製剤(整腸剤)				
その他	1,358	743	△615	△45.3
計	2,751	2,241	△509	△18.5

※1 自社品

※2 「コレクナム軟膏」は2020年6月より販売しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2020年12月期 第2四半期 A	2021年12月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	10,413	11,179	765	7.4
自社品比率 (%)	53.5	53.1	△0.4	-

③ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階（国内）					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
皮膚疾患領域								
JTE-052 「コレクテム®軟膏」	乳幼児アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> ・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本国内における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
アレルギー領域								
TO-203 「ミティキュア® ダニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠			Phase II/Ⅲ終了※			<ul style="list-style-type: none"> ・ALK-Abelló A/Sと日本国内における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ※今後の開発方針について検討中

前回公表時（2021年4月28日）からの変更点

- ・JTT-751「リオナ®錠」（鉄欠乏性貧血）は2021年3月23日に情報提供活動を開始（前回公表時：開発段階「承認」）
- ・JTE-052「コレクテム®軟膏」（小児アトピー性皮膚炎）は2021年6月21日に販売を開始（前回公表時：開発段階「承認」）

上記のほか、以下の契約を締結しております。

- ・2020年1月 日本たばこ産業(株)がDermavant Sciences GmbHと日本国内における皮膚疾患領域での独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結したアレル炭化水素受容体（AhR）モジュレーター（tapinarof）について、日本国内における共同開発及び販売に関する契約（日本たばこ産業(株)との共同開発）
- ・2021年3月 Verrica Pharmaceuticals Inc.との間で、同社が有する皮膚疾患治療薬VP-102について、日本国内における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約

当社の親会社である日本たばこ産業(株)（うち医薬事業部門）とは、医薬品に関する製品及びサービスにおいて、各々の強みを生かし、当社は主に製造と販売の機能を担っており、親会社は研究開発の機能を担っております。なお、親会社の研究開発の状況は、日本たばこ産業(株)ウェブサイト上の「医療用医薬品臨床開発状況」をご参照ください。

<https://www.jti.co.jp/investors/library/business/briefing/index.html>

Ⅲ 2021年12月期 業績予想

2021年12月期 業績予想については、前回発表（2021年2月4日「2020年12月期 決算短信(日本基準) (非連結)」)の予想数値を修正しております。

① 損益計算書

(単位:百万円)	2021年12月期	2021年12月期	修正額	2020年12月期	増減額	増減率 (%) (B-C)/C
	前回予想 A	修正予想 B		実績 C		
売上高	45,700	46,400	700	41,700	4,699	11.3
製商品売上高	45,240	45,720	480	41,053	4,666	11.4
腎・透析領域	14,580	14,130	△450	14,773	△643	△4.4
皮膚疾患領域	12,680	12,310	△370	9,918	2,391	24.1
アレルギー領域	13,510	14,880	1,370	11,332	3,547	31.3
その他	4,470	4,400	△70	5,029	△629	△12.5
その他の売上高	460	680	220	647	32	5.1
売上原価	22,200	22,400	200	19,962	2,437	12.2
売上総利益	23,500	24,000	500	21,737	2,262	10.4
販売費及び一般管理費	19,700	20,000	300	16,999	3,000	17.6
販管費(研究開発費除く)	18,720	19,090	370	16,403	2,686	16.4
研究開発費	980	910	△70	596	313	52.5
営業利益	3,800	4,000	200	4,738	△738	△15.6
経常利益	4,100	4,200	100	4,971	△771	△15.5
当期純利益	2,700	2,800	100	3,495	△695	△19.9

(参考) 売上高に対する比率

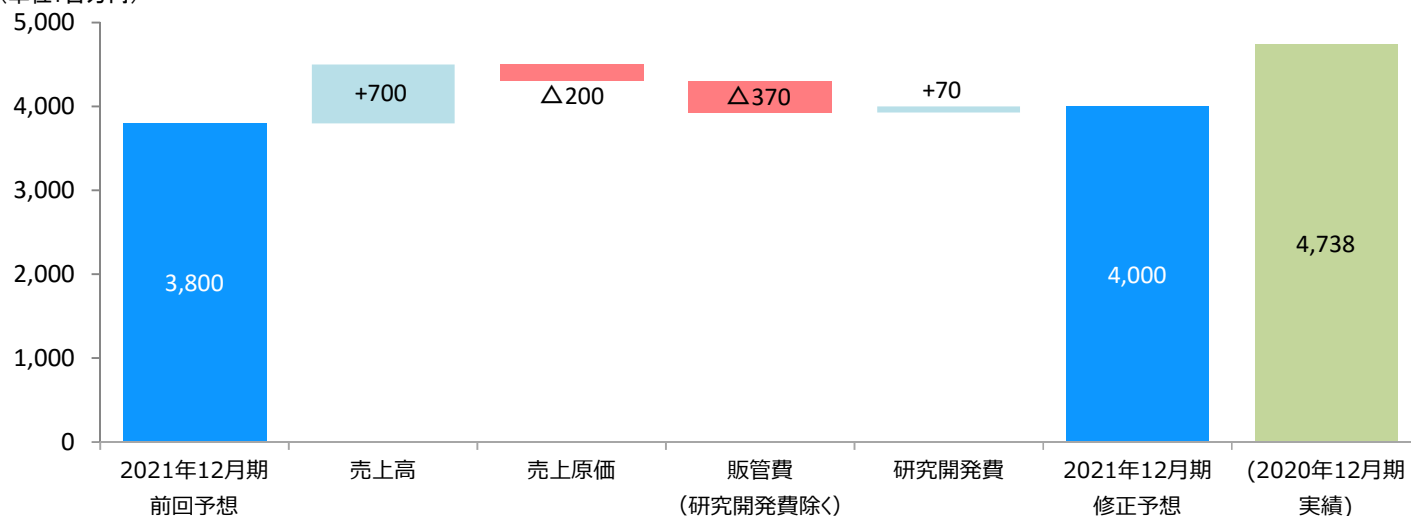
(単位:%)	2021年12月期	2021年12月期	増減	2020年12月期	増減
	前回予想 A	修正予想 B		実績 C	
売上原価	48.6	48.3	△0.3	47.9	0.4
販売費及び一般管理費	43.1	43.1	0.0	40.7	2.4
研究開発費	2.1	2.0	△0.1	1.4	0.6
営業利益	8.3	8.6	0.3	11.4	△2.8
経常利益	9.0	9.1	0.1	11.9	△2.8
当期純利益	5.9	6.0	0.1	8.4	△2.4

【2021年12月期 対前回予想増減要因】

営業利益（4,000百万円 対前回予想+200百万円）

✓ ミティキュア及びシダキュアの好調により上方修正

（単位：百万円）



主な増減要因

売上高	腎・透析領域	: 減収	リオナ△3億円（薬価改定の影響による減）
	皮膚疾患領域	: 減収	コレクテム△2億円（コロナ影響による販売数量の減）
	アレルギー領域	: 増収	ミティキュア+10億円、シダキュア+2億円（販売数量の増）
売上原価		: 売上高の増加	
販管費（研究開発費除く）		: 売上連動経費の増加	
			新製品の発売等に伴う販売費用の増加

経常利益（4,200百万円 対前回予想+100百万円）

特記事項：特になし

当期純利益（2,800百万円 対前回予想+100百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2021年12月期 前回予想 A	2021年12月期 修正予想 B	修正額 B-A	2020年12月期 実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
製商品売上高	45,240	45,720	480	41,053	4,666	11.4
[腎・透析領域]						
リオナ錠 高リン血症治療剤、鉄欠乏性貧血治療剤	7,910	7,570	△340	6,507	1,062	16.3
レミッチ 経口そう痒症改善剤	4,920	5,040	120	6,365	△1,325	△20.8
ケイキサレート ※1 高カルウム血症改善剤	1,500	1,500	-	1,717	△217	△12.7
その他	250	20	△230	182	△162	△89.1
計	14,580	14,130	△450	14,773	△643	△4.4
[皮膚疾患領域]						
アンテベート ※1 外用副腎皮質ホルモン剤	4,840	4,860	20	5,241	△381	△7.3
コレクチム軟膏 ※2 外用ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤	4,730	4,480	△250	1,291	3,188	246.9
ロコイド ※1 外用副腎皮質ホルモン剤	1,590	1,610	20	1,674	△64	△3.9
ゼフナート 抗真菌薬	1,090	960	△130	1,241	△281	△22.7
その他	430	400	△30	469	△69	△14.7
計	12,680	12,310	△370	9,918	2,391	24.1
[アレルギー領域]						
シダキュア スギ花粉舌下錠 ※1 スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬	7,370	7,660	290	6,139	1,520	24.8
ミティキュア ダニ舌下錠 ※1 ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬	5,890	6,970	1,080	4,776	2,193	45.9
その他	250	250	-	416	△166	△40.0
計	13,510	14,880	1,370	11,332	3,547	31.3
[その他]						
ピオスリー 活性生菌製剤(整腸剤)	3,070	3,050	△20	2,969	80	2.7
その他	1,400	1,350	△50	2,059	△709	△34.5
計	4,470	4,400	△70	5,029	△629	△12.5

※1 自社品

※2 「コレクチム軟膏」は2020年6月より販売しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2021年12月期 前回予想 A	2021年12月期 修正予想 B	修正額(率) B-A	2020年12月期 実績 C	増減 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
自社品売上高	22,100	23,660	1,560	21,539	2,120	9.8
自社品比率 (%)	48.9	51.7	2.8	52.5	△0.8	-